

- 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく、『逃げ遅れゼロ』を目指す取組として、北海道内で初となる緊急速報メールを活用したPUSH型洪水情報の配信訓練を実施。
- 「留萌川減災対策協議会」の一員である气象台と連携して洪水警報を発表後、緊急速報メールを留萌市全域に配信。市内大和田地区の自治会、町内会の住民による避難訓練を実施。
- 避難所では、防災に関する講演と併せて、浸水想定区域図や昭和63年洪水の各種記録を展示して水防災意識の啓発を図った。住民からは『自然災害は人ごとの様に思っていたが、防災への備えが必要』などの意見を頂いた。

緊急速報メールの配信訓練 概要

目的：ビジョンの『逃げ遅れゼロ』を目指す取組の一環として、緊急速報メールの配信訓練を行い、併せて住民の避難訓練を実施。

実施日：平成29年9月24日（金）

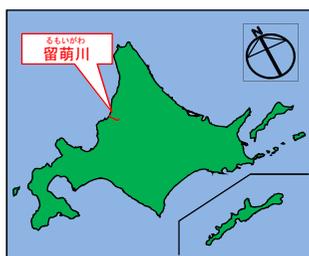
実施場所：配信 留萌市全域
避難 留萌市大和田地区

主催：留萌開発建設部、留萌市

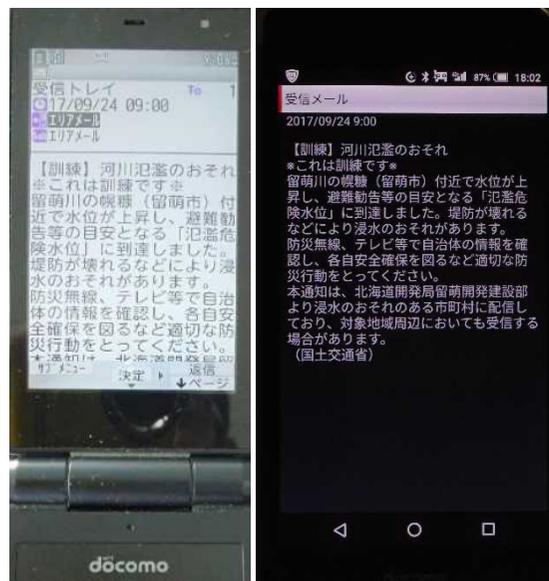
参加機関：留萌開発建設部、留萌市、北海道警察、大和田自治会、東大和田町内会の皆様

参加人数：約50名

実施内容：避難訓練、講演、昭和63年洪水パネル展示、避難所生活体験ブース展示、炊き出し訓練



訓練実施状況



訓練配信メール



避難訓練



講演